

# TAP 研修会 for students

令和元年9月14日(土)～15日(日)

## 【目的】

「徳地アドベンチャー教育プログラム」(以下、TAP)の体験を通して、集団の力を借りながらコミュニケーションの楽しさや手段を学んでいくことで、人間関係の育み方を知る。また、個を振り返ることで、これからの人格形成の一助となる知識を得る。

【参加者】6名(男性1名、女性5名)

## 【プログラムの内容】

### 1日目

- 10:15 開講式、オリエンテーション
- 10:30 セッション①「アイスブレイク等」
- 13:00 セッション②「イニシアチブ・ローエレメント等」
- 18:30 セッション③「理論、being」

### 2日目

- 9:00 セッション④「ハイレメント」
- 13:00 セッション⑤「理論・being・ふりかえり」
- 14:30 閉講式

## セッション①



午前中は、緊張をほぐすための活動で初めて会った人との距離が縮まり、お互いが「何を学びにきたのか」を笑顔の中で出し合うことができた。「このチームで大切にしたいこと」も含めて、午後からの活動につなげていた。

## セッション②



午後からは、課題解決の活動とローエレメントを行いました。参加者はドキドキと達成感を感じ、TAPの効果について体験的に学んでいた。

## セッション③



夜は、みんなで一日の活動を振り返って、「このチームで大切にしたいこと」をbeingに書き出した。明日へ向けて、「丸い雰囲気チーム一丸になる」を目標に設定し、その後、beingを含めてTAPの理論を学んだ。

## セッション④



2日目はハイレメントを行った。「丸い雰囲気チーム一丸になる」ことを意識しながら、お互いに声を掛け合って、それぞれがチャレンジしていた。

チームとしての高まりと、新しい自分との出会いや個人の変化などを、振り返りで伝えあっていた。

## セッション⑤



午後はお互いに支えってもらったり支えたりする活動を行い、仲間の大切さと信頼について考えた。

最後は、beingを使ってふりかえりをし、学んだことをこれからどう生かすかを考えた。

### 【参加者の声】

- ・全体を通して、楽しむことができました。それとともに自分の知らない自分の一面や意識をすることの重要性に気付くことができました。
- ・周りの人の温かさを感じることができました。自分が要領は良くないけど、できないこと、人の気持ちが少しわかるようなことに気づいたので、そういった人にも寄り添えるリーダー、教諭になりたいです。

### 【成果】

参加者は活動が進むにつれ、自分たちで人の温かさを感じることができる空間を作っていくことができ、コミュニケーションの楽しさや手段を体験的に学び、人間関係の育み方を知る機会となった。そして、その空間の中で、自分の新しい一面や仲間の大切さに気づく機会ともなった。また、徳地の教育事業の根底にあるTAPの考え方を、体験的に学んでもらうことができ、今後の事業でのボランティア活動でそれを生かそうとする学生が増えた。

### 【課題】

日程が各大学の学園祭や授業に重なっていたため、参加者が少なかった。次年度は、各大学の年間の行事計画を取り寄せた上で開催日程を決定する。この事業報告書も広報に活かす。